

横浜市野島青少年研修センター 平成29年度事業報告

1 体験活動を支援する事業

青少年が集団宿泊体験や自然体験など、様々な体験を通じて成長できるプログラムの開発・提供や、活動ニーズに対応した運営を行い、利用する団体の活動が充実する取り組みを行いました。

利用団体の活動趣旨や研修目的を事前に打ち合わせを行い、活動プログラムが安全かつ効果的な体験活動プログラムが実施できるようコーディネートしました。

施設の利用における利用者ニーズに対応して、無線LAN環境を研修室と食堂に整備するとともに、利用者サービスとして、室内用スリッパや歯ブラシの販売を始めました。

利用促進としては、市立及び県立高校に施設利用のチラシを配布するとともに、直接、近隣の高校や大学に訪問して、PRを行いました。

また、体験プログラムを取り入れた学校や団体に対してアンケートを実施し、その結果を体験プログラムの開発・提供に反映しました。

利用団体数： 724件（宿泊利用：415件、日帰り利用：309件）

利用人数： 34,747人（宿泊利用：21,438人、日帰り利用13,309人）

稼働率： 84.3%（28年度：80.5%）

利用団体前年度比：112.4%

【開館日数・利用状況】

年度	開館日数	利用可能日数	利用日数	宿泊		日帰り		合計		稼働率
				団体	人数	団体	人数	団体	人数	
25	359日	333日	238日	395件	18,852人	187件	5,804人	582件	24,656人	71.5%
26	359日	333日	265日	398件	18,624人	247件	8,892人	645件	27,516人	79.6%
27	360日	334日	268日	442件	20,206人	294件	11,032人	736件	31,238人	80.2%
28	359日	333日	268日	423件	20,965人	221件	8,247人	644件	29,212人	80.5%
29	359日	333日	278日	415件	21,438人	309件	13,309人	724件	34,747人	84.3%

2 青少年を支える人材を育成する事業

青少年指導者・育成者を対象に、施設周辺の環境を活かしてキャンプファイヤーの実践研修及び自然海浜での生き物観察と安全をテーマにした研修を実施しました。

施設ボランティア「のじボラ」の募集を高校生以上の青少年を対象に行い、ボランティアとしてのスキルアップ研修やボランティア活動を通じて、青少年活動を支える人材の養成を行いました。

3 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

体験プログラムの提供では、カヌー・いかだ作り・干潟観察など自然環境を活かした体験プログラムや、野島カリーなど厨房を活用した食育プログラムなど、多種多様な体験プログラムの提供を行い、多数の参加がありました。

地域産業と関係性を育み、㈱横浜シーサイドラインとの連携による「プレミアム探検ツアー」、関東学院大学及び㈱関学サービスとの連携による「親子クッキング教室 フリーアレルゲンごはん」を実施し、新たな体験プログラムを提供することができました。

野島海岸の保全活動「オールクリーン野島ビーチ」には、市内の高校生・大学生の部活やサークル活動としての参加など、例年以上に多くの青少年の参加がありました。

寄り添い支援事業に通う青少年を対象とした宿泊キャンプでは、市内高校を卒業した青少年が星の解説や観測会を実施し、日頃体験機会の少ない青少年が参加者間で体験を共有しました。

地域交流事業では、地域の人達にセンターの活動を知ってもらうため、「のじまオープンデー」を実施し、施設を一般公開するとともに、体験プログラムを地域の人たちに体験してもらう事業や、地域住民と連携した、「陶芸教室」、「コグニサイズ体験教室」を実施し、地域の人達と関係性を深めました。

《目標設定時公表項目》 横浜市野島青少年研修センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	研修や体験プログラムにおける教材の貸出及び物品販売、無線LAN環境の整備など利用者サービスの充実を図ります。	①教材の貸出：1,000人（前年度目標700人） ②物品販売利用者数：40人（前年度目標30人） ③無線LANの設置
業務運営	より多くの青少年に体験の機会を提供するために、地域住民や他団体と連携しながら、利用者ニーズに応じたプログラムを提供します。	①体験プログラム種目数：29種目以上（前年度目標25種目） ②体験プログラム参加者数：20,000人以上（前年度目標13,000人） ③施設利用者数：29,200人（前年度目標28,700人）
職員育成	施設管理や体験活動の質や効果を高めるため、職員が研修を通じて必要な専門知識を学び、安全管理能力や企画や研修の知識を向上します。	①防災・避難誘導訓練の実施 年2回実施 ②救急法(AED等)の研修 年1回実施 ③外部専門研修へ各職員1回以上参加
財務	体験プログラムの提供数及び体験事業数の増加による事業収入の増	事業収入4,450万円（前年度予算50万円増）

《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組（改善計画）
利用者サービス	研修や体験プログラムにおける教材の貸出及び物品販売、無線LAN環境の整備など利用者サービスの充実を図ります。	①教材の貸出：1,000人 ②物品販売利用者数：40人 ③無線LANの設置	①1,001人 +2校 ②89人 ③全研修室・食堂に設置	①1人+2校増 ②49人 ③なし	①引き続き、事前研修の機会を作り、教材貸出を行います。 ②HPや事前打合せにおいて物品販売を案内します。
業務運営	地域住民や他団体と連携しながら、利用者ニーズに応じたプログラムを提供します。	①体験プログラム種目数：29種目以上 ②体験プログラム参加者数：20,000人以上 ③施設利用者数：29,200人	①29種目 ②24,944人 ③34,747人	①なし ②4,944人増 ③5,547人増	①多様なニーズに対応するため、新規プログラムを3種目以上増やします。 ②参加者数21,000人をめざしつつ、安全に体験機会を提供します。
職員育成	職員が研修を通じて必要な専門知識を学び、安全管理能力や企画や研修の知識を向上します。	①防災・避難誘導訓練の実施 年2回実施 ②救急法(AED等)の研修 年1回実施 ③外部専門研修へ各職員1回以上参加	①3回（町内会主催含む） ②2回 ③1人平均7回（43回）	①1回増 ②1回増 ③6回増	①地域・公園と連携して防災訓練を実施します。 ②年1回以上救急法の研修を受講します。 ③内外の研修に各職員2回以上参加します。
財務	体験プログラムの提供数及び体験事業数の増加による事業収入の増	事業収入4,450千円（前年度予算500千円増）	5,714千円（113千円増）	1,264千円増	施設の特長や周囲の環境を活かした体験プログラムを提供し、事業収入4,450千円以上を目指します。

1. 宿泊・日帰り利用状況

月	開館 日数	宿泊 可能 日数	宿泊 利用 日数	利用 日数	点検 日数
4	30	27	13	23	2
5	31	28	19	24	3
6	30	27	24	26	2
7	31	28	27	27	2
8	31	27	27	28	3
9	30	27	24	26	2
10	31	28	19	23	2
11	30	27	16	21	2
12	28	25	9	18	3
1	28	26	12	20	2
2	28	25	11	20	2
3	31	27	17	22	3
計	359	322	218	278	28

団体数	宿泊利用			団体数	日帰り利用			
	利用人数				利用人数			
	男	女	計		男	女	計	
19	710	604	1,314	32	670	505	1,175	
34	1,139	996	2,135	34	625	716	1,341	
32	1,228	1,214	2,442	29	813	801	1,614	
63	1,672	1,646	3,318	23	563	598	1,161	
68	2,008	1,590	3,598	11	140	120	260	
40	1,223	1,059	2,282	20	307	746	1,053	
31	836	774	1,610	27	426	462	888	
23	776	508	1,284	22	517	689	1,206	
20	421	262	683	27	390	745	1,135	
20	395	296	691	21	232	315	547	
22	246	239	485	40	975	1,025	2,000	
43	803	793	1,596	23	374	555	929	
計	415	11,457	9,981	21,438	309	6,032	7,277	13,309

団体数	合計			
	利用人数			
	男	女	計	
51	1,380	1,109	2,489	
68	1,764	1,712	3,476	
61	2,041	2,015	4,056	
86	2,235	2,244	4,479	
79	2,148	1,710	3,858	
60	1,530	1,805	3,335	
58	1,262	1,236	2,498	
45	1,293	1,197	2,490	
47	811	1,007	1,818	
41	627	611	1,238	
62	1,221	1,264	2,485	
66	1,177	1,348	2,525	
計	724	17,489	17,258	34,747

(1)保守管理業務

ア 建築物の保守管理

設備項目	機器及び設備の名称	点検種別	点検実績
外部仕上げ	外壁、屋根、地面など	日常点検	毎日実施
内部仕上げ	壁面、天井、床など	日常点検	毎日実施

※点検内容：仕上げ材の浮き、ひび割れ、はがれ、かびの発生、美観の維持

イ 建築設備の保守管理

設備項目	機器及び設備の名称	点検種別	協定書回数・頻度	点検実績	
空気調和 関連設備	空気調和機	定期点検	月1回以上	12回	
	全熱交換機			12回	
	パッケージ型空調機			12回	
	ヒートポンプエアコン			12回	
	ファンコイルユニット			12回	
	空調換気扇			12回	
	その他ポンプ類			随時	
	冷却塔			12回	
	冷温水・冷却水ポンプ			12回	
	送・排風機			12回	
電気関連設備	受変電設備	定期点検	週1回以上	毎週実施	
	配線設備（幹線・分電盤等）				
	負荷設備（制御盤・電動機等）				
	負荷設備（照明・コンセント等）				
	配線通信線路				
	構内交換設備				
	外灯設備				
給排水衛生設備	受水槽・高置水槽	定期点検	月1回以上	12回	
	揚水ポンプ・加圧給水装置			12回	
	給湯器・貯湯槽・熱交換器			12回	
	衛生器具類			12回	
その他の 設備管理	ガス設備	定期点検	月1回以上	12回	
	消防設備			12回	
	自家用電気工作物			12回	
	中央監視装置		年2回以上	2回 5/26、11/8	
	濾過装置		年4回以上	4回 6/3、9/6、12/1、3/20	
	エレベータ設備		月1回以上	12回	
	自動ドア設備		年3回以上	3回 5/12、9/8、1/10	
	環境衛生管理		空気環境測定	定期点検	年6回以上
排ガス測定		年2回以上	2回 5/1、11/2		
水質検査		年2回以上	2回 7/18、1/10		
簡易専用水道検査		年1回以上	1回 8/31		
ねずみ・衛生害虫駆除		年2回以上	2回 9/11、3/22		
ダニ及び害虫駆除		年1回以上	1回 3/22		
受水槽清掃		年1回以上	1回 7/19		
雑排水槽清掃		年2回以上	2回 4/14、10/3		
汚水槽清掃		年2回以上	2回 4/14、10/3		
浴槽レジオネラ菌属検査		年2回以上	2回 8/16、3/27		

ウ 備品等の保守管理

項目	協定の内容	実績
備品の保守管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常管理で実施
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常管理で実施

(2)環境維持管理業務

ア 清掃業務

項目	対象・範囲	協定書の回数	実績
日常清掃業務	館内	1日2回以上	毎日2回以上実施
	公園及び側道	1日1回以上	毎日1回以上実施
定期清掃業務	床清掃(洗浄・ワックス清掃等)	月1回以上 (夏休み期間を除く)	12回
その他の清掃業務	カーペット清掃	年1回以上	2回 7/28、3/5~7
	窓枠・窓ガラス清掃	年4回以上	5回 6/6、8/29~30、9/12、 12/11~13、3/5~7
	網戸清掃	年1回	1回 3/5~7
	厨房穴ステンレス及びタイル壁面清掃	年1回以上	1回 10/2~3
	照明器具及び給排気口清掃	年1回以上	1回 2/5~6
	ブラインド清掃	年1回以上	1回 1/9~10
	厨房グリスフィルター清掃	年1回以上	4回 5/5、9/12、12/12~13、 3/5~7

イ 保安警備業務

項目	対象・範囲	協定の内容	実績
有人警備	建物及び敷地内(9:00~17:00)	研修センター内の秩序を維持し、火災等の災害や盗難、破壊等の犯罪の発生を警戒、防止し、来所者の安全をはかり、財産の保全をはかる。	開館日に実施
宿直警備	宿直日(17:00~翌9:00)		宿泊利用日に実施
機械警備	非宿直日(17:00~翌9:00)		非宿泊日に実施

(3)施設保全業務

ア 小破修繕の実施

実施	対象・範囲	内容
6月	売店横男子多目的トイレ	フラッシュバルブ部品交換
7月	1階男子トイレ	小便器交換
7月	宿泊室214号室	ベッド手すり交換
10月	宿泊室101号室	照明機器改修工事
11月	厨房	温水器部品交換
12月	1階避難口・2階通路誘導灯	バッテリー交換
1月	売店横男子多目的トイレ	フラッシュバルブ交換
1月	大浴室	サーモスタット交換

A-あ 青少年活動を支援する事業

事業名	実施日	回数	参加費(1人)	参加者数	備考
施設・設備貸出事業					
宿泊利用団体受入れ	通年		利用料金	415 団体 21,438 人	
日帰り利用団体受入れ	通年		利用料金	309 団体 13,309 人	
一般団体抽選会	毎月第 2 日曜日	12 回		128 団体	
利用者アンケート	通年			291 件	
①施設・設備の快適性と安全性の向上					
職員のスキルアップ・保全研修への参加					
カヌー指導者講習	4/22、5/6	2 回		6 人	NPO 法人横浜金沢カヌークラブ主催
避難・消火訓練	5/28	1 回		6 人	
リードアップセミナー	5/24～25	1 回		1 人	県青少年センター主催
公共建築物シックハウス対策説明会	6/6	1 回		1 人	横浜市主催
公共建築物の保全に関する研修	7/18	1 回		1 人	横浜市主催
金沢区食品衛生責任者講習会	8/22	1 回		1 人	区食品衛生協会主催
若者相談支援スキルアップ研修	9/1	1 回		1 人	横浜市主催
水まわり器具のメンテナンスセミナー	9/8	1 回		1 人	横浜市主催
コンプライアンス研修	10/5	1 回		1 人	横浜市主催
全国青少年教育施設所長会議、施設研究会	11/27～28	1 回		2 人	国立青少年教育振興機構主催
AED講習	12/12	1 回		6 人	
MFA 応急手当講習会	1/12	1 回		6 人	ディファ・アクト主催
こどもの事故は予防できる	3/9、20	1 回		6 人	育成センター主催
人権研修	1/31～2/1	1 回		6 人	法人主催
こどもの事故は予防できる	3/9、20	1 回		6 人	育成センター主催
傷病者、嘔吐発生時の対応	通年	随時			
②プログラムの相談・コーディネート					
利用相談業務 団体事前打合せ	毎月第 1～3 土曜日	36 回		213 団体	
学校体験学習事前打合せ	通年	98 回		98 校	下見含む
学校体験学習説明会		3 回		52 校	
③利便性を高めるため利用者サービスの向上					
給食サービス		8 回	430～740 円	256 人	ハンバーグ定食、唐揚げ定食他
④活動風景の発信					
体験プログラムの手順データの送信	通年		—	希望団体へ随時送信	
利用促進事業					
広報活動	4 月	3 回	チラシ配布	85 箇所	夏期利用
①学校宿泊体験活動の利用促進	10、11、12 月	3 回	パンフ配布		市内外含む
②閑散期の大学や企業等の誘致活動					
学校対象利用促進	8/22、9/1、5	7 回	直接訪問	7 校	
企業対象利用促進	10/15～10/31	1 回			ハマふれんどニュース10月号掲載

B-い 青少年を支える人材を育成する事業

事業名	実施日	回数	参加費(1人)	参加者数	備考
青少年指導者育成者研修					
①指導者・育成者への情報提供、相談対応	通年	なし			研修に関する相談なし
②指導者スキルアップ研修会	4/30、5/13	2 回	2,000 円	42 人	レクリエーション講習会 水辺の安全講習会
ボランティアの養成					
ボランティア研修会 (のじボラ)	4/23、5/3、13、6/11、20、12/17	6 回		延べ 26 人	
プログラム支援ボランティア	通年	203 回		延べ 554 人	

C-う 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

事業名	実施日	回数	参加費(1人)	参加者数	備考
体験プログラムの提供					
①施設特性を活かしたプログラム					
野島カリー	通年	35回	400円	2,713人	
250カレー	通年	17回	250円	1,135人	
おにぎり作り	通年	2回	200円	87人	
ちらし寿司	通年	1回	500円	38人	新規
のじたまくん	通年	8回	100円	196人	
干物作り	通年	1回	学校800円、一般1,000円	96人	
もちつき	通年	5回	杵・臼1,000円+200円	198人	
キャンドルファイヤー	通年	85回	無料	6,680人	
レクリエーションゲーム	通年	8回	無料	460人	
陶芸	通年	2回	1,500円	30人	新規
食育厨房利用	通年	14回	50円	578人	
②自然環境を活かしたプログラム					
カヌー体験	通年	13回	学校800円、一般1,000円	909人	NPO法人横浜金沢カヌークラブ協力
いかだ作り体験	通年	20回	学校300円、一般500円	1,722人	
干潟観察	通年	15回	100円	1,001人	
漁師体験	通年	6回	100円	314人	
カニ釣り	通年	24回	100円	1,638人	
ハゼ釣り	通年	1回	200円	40人	
ミニ水族館(元タッチプール)	通年	9回	基本料3,000円+50円	645人	
フォトラリー	通年	41回	無料	3,403人	
星空観察・ナイトウォーク	通年	22回	無料	1,439人	
火起こし体験	通年	4回	200円	414人	
ちりめんモンスターを探せ	通年	12回	100円	626人	
バードコール	通年	12回	100円	467人	
化石レプリカ	通年	11回	100円	231人	
手作りプラネタリウム	通年	2回	200円	80人	
ビーチグラス	通年	7回	500円	285人	
海苔づくり	通年	1回	500円	96人	
③地域産業と連携したプログラム					
プレミアム探検ツアー	9/9	1回	1,600円、2,000円	36人	㈱横浜シーサイドライン主催
④防災キャンプ					
kids&junior 防災キャンプ	9/16~17	1回	500円	49人	金沢区災害ボランティアネットワーク主催
おやこ防災 DAY キャンプ	3/8	1回	500円	36人	金沢区災害ボランティアネットワーク主催
市民活動団体との協働事業の実施					
①自然体験キャンプの実施					
カヌー体験キャンプ in のじま	6/3~4、7/1~2	1回	4,000円	78人	NPO法人横浜金沢カヌークラブ共催
のじまチャレンジキャンプ	9/30~10/1	1回	4,000円	38人	
1泊2日の秘密基地づくり	10/28~29	1回	5,000円	24人	NPO法人YPCネットワーク協力
よこはま横断ハイク	中止	1回	9,000円		(公財)横浜市体育協会共催
②自然体験・文化体験教室の実施(日帰り)					
野島カヌー体験教室	5/27、6/17 8/26	3回	18歳未満1,000円 18歳以上2,000円	延べ58人	NPO法人横浜金沢カヌークラブ共催
シーカヤック教室	7/16、8/5、6	3回	6,500円	28人	
親子陶芸教室	11/5	1回	1,200円	5人	講師：須藤義明他
親子クッキング教室 アレルゲンフリーごはん	2/10	1回	3,500円(1組)	8人	講師：関東学院大学 材料・表面工学研究所 角田光洋
おさかなクッキング	2/18	1回	4,000円(1組)	14人	講師：料理研究家 長島由佳
③野島海岸の保全活動					
オールクリーン野島ビーチ	7/22、9/2、9、11/18、2/17	5回	無料	316人	実行委員会

C-う 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

困難を抱える青少年のための体験活動支援					
①不登校児童生徒の宿泊体験の実施					
ハートフルスペース宿泊体験	11/21～11/22	1回	200～1,000円	122人	横浜市教育委員会共催
②障がいのある児童・生徒の宿泊体験の実施					
野島クリスマスキャンプ	12/9～12/10	1回	2,000円	87人	同実行委員会共催
事務局会・実行委員会	毎月1回程度		※実行委員会の収入	職員3人	4～1月
ボランティア説明会	11/26	1回		39人	障がい児理解研修
ふれあいの会	11/26	1回		39人	顔合わせ会
③困難を抱える青少年を対象とした宿泊キャンプの実施					
オルタボイスキャンプ	11/4～5	1回	1,000円	57人	NPO法人多文化共生教育ネットワーク主催
			※主催団体の収入		
ことぶき青少年広場の体験プログラム活動支援	10/15	1回	無料	21人	ことぶき青少年広場主催
職業体験活動の受け入れ	12/11～12、2/1～2	2回	無料	6人	中学校個別支援学級2校
わくわく生活キャンプ	12/27～12/28	1回	600円	5団体56人	ユース連携事業
横浜市青少年相談センター宿泊キャンプ	2/1～2	1回	—	18人	横浜市青少年相談センター主催
地域交流事業					
①地域ネットワーク会議の実施					
	10/6、1/19	2回	無料	延べ18人	野島・乙船打町内会、野島公園
②地域住民と連携した文化活動教室の実施					
陶芸教室	5/21、22、23 10/13、14、15	6回	1,500円	62人	野島町内会主催
コグニサイズ体験講座	9/26、10/10、24、11/14 1/23、2/13、27、3/13、27	9回	無料	361人	金沢区主催
③地域との防災への取り組み					
地震・津波から金沢区の子 どもたちを守る講演会	7/2	1回	無料	職員1人	金沢区災害ボランティアネットワーク主催
町内会避難訓練	10/1	1回	無料	職員2人	野島町内会主催
金沢区災害ボランティアネットワーク会議	毎月1回	12回	無料	職員1人	
体験プログラムの調査研究					
①体験プログラムの検証					
	○市内寄り添い支援、学習支援団体を訪問し、ヒアリングを実施 ○体験プログラム実施校・団体を対象にアンケートを実施				
②体験プログラムの改善・充実					
	プログラム集・進行手順表・申込書を作成し、利用者に配布				

主な事業項目の自己評価

体系	項目	自己評価
A あ	施設・設備貸出業務	<p>利用者のニーズを反映させたサービスを提供するとともに、安全で効果的に研修目的が達成できるよう活動を支援しました。</p> <p>研修室と食堂にWi-Fiを設置し、より充実した研修活動ができるようネット環境を整備しました。</p> <p>室内スリッパ、歯ブラシ、キャンドルファイヤー用ろうそくの販売を始め、利用者サービスの向上に努めました。</p> <p>宿泊後も継続して研修室を利用する団体や学校が増え、日帰りの利用人数は昨年度よりも5,062人増加しました。</p> <p>宿泊利用 415団体 21,438人、日帰り利用：309団体 13,309人 事前打合せ会 36回 延べ213団体 373人</p>
	利用促進事業	<p>新規利用者の獲得をめざし、高校・大学の部活動・サークル活動誘致を目的としたチラシの送付（75箇所）、及び直接近隣の高校と大学に訪問（7校）してPRを行いました。</p> <p>また中小企業向けの発行誌に、企業の研修やサークル活動誘致を目的とした広告を掲載しました。</p> <p>62団体が新規に利用しました。</p>
A お	体験プログラムの調査研究	<p>体験プログラムを取り入れた学校や団体に対してアンケート調査を実施し、その結果をホームページで公開するとともに、体験プログラムの開発・実施に反映させました。</p> <p>また市内寄り添い型支援施設運営団体を対象に、寄り添い型支援施設に通う青少年の体験活動に対するニーズについてヒアリング調査を行いました。</p>
B い	青少年指導者育成者研修	<p>青少年指導者・育成者を対象に、施設の周辺環境を活かした、実践的な内容の講習会を実施しました。</p> <p>「自然あそびのススメ in のじま」では、水辺の安全と海の生物観察についての座学と野島海岸で実技を行いました。「みんなでつくろう！キャンプファイヤー in のじま」では、隣接するキャンプファイヤー場を活用してレクリエーション講習を実施しました。</p>
	ボランティアの養成	<p>事業や体験プログラムに関わるボランティアを養成しました。</p> <p>高校生以上の青少年を対象とした施設ボランティア「のじボラ」では、スキルアップ研修に延べ26人が参加するとともに、ボランティア活動を通じて、青少年活動を支える人材を養成しました。</p> <p>カヌーやカレー作りなどの体験プログラム、自然体験キャンプ、海浜清掃などのプログラムスタッフとして青少年及びシニアボランティア延べ554人に活躍の場を設けました。</p>
C う	体験プログラムの提供	<p>カヌー・いかだ作り・干潟観察など野島特有の自然環境を活かしたプログラムや、厨房を活用した野島カレー・干物づくりなど施設の特性を活かした体験プログラムを提供し、学校の体験学習や利用団体の青少年育成活動がより効果的な内容になるよう支援しました。</p> <p>地域産業と連携したプログラムとしては、(株)横浜シーサイドラインと連携し「プレミアム探検ツアー」を実施し、36人が参加しました。</p> <p>防災プログラムでは、横浜市金沢区災害ボランティアネットワークとの共催で小学生以上の青少年を対象とした「Kids&junior 防災キャンプ」と乳幼児とその保護者を対象とした「おやこ防災 DAY キャンプ」を実施しました。</p> <p>(1) 施設の特性を活かしたプログラム (食育プログラム、レクリエーション、陶芸等)</p>

		<p>参加件数：178件 参加人数：12,211人</p> <p>(2) 自然環境を活かしたプログラム (カヌー・いかだ、干潟観察、フォトラリー等)</p> <p>参加件数：200件 参加人数：13,310人</p> <p>(3) 防災プログラム 参加人数：85人</p>
	市民活動団体と協働した体験プログラム	<p>青少年に多くの体験機会を提供できるよう、市民活動団体やボランティアと協働して、宿泊体験や自然体験活動を提供する「自然体験キャンプ」、日帰り型で体験活動を提供する「自然体験・文化体験教室」、環境保全を目的とした「野島海岸の保全活動」を実施しました。</p> <p>自然体験キャンプでは、NPO法人横浜金沢カヌークラブと連携した「カヌーキャンプ in のじま」と「のじまチャレンジキャンプ」、野島公園と連携した「1泊2日の秘密基地づくり」を実施し、共には定員を上回る応募がありました。</p> <p>自然体験・文化体験教室では、小学生とその保護者を対象とした食育教室として、関東学院大学等との連携による「アレルゲンフリーごはん」、施設の厨房を活かした「おさかなクッキング」を実施しました。</p> <p>野島海岸の保全活動には、近隣住民だけでなく、高校の生徒会や部活動、大学のサークルの活動として多くの青少年が参加をしました。</p> <p>(1) 自然体験キャンプ 実施回数：4回 参加人数：140人 (2) 自然体験・文化体験教室 実施回数：9回 参加人数：113人 (3) 野島海岸の保全活動 実施回数：5回 参加人数：316人</p>
	困難を抱える青少年のための体験活動の支援	<p>横浜市教育委員会と共催で、不登校児童生徒を対象とする宿泊体験、横浜市立小中学校の個別支援級の児童・生徒を対象とした宿泊体験及び日帰り活動「野島クリスマスキャンプ」、寄り添い支援施設に通う児童・生徒を対象とした「わくわく生活体験キャンプ」、その他困難を抱える青少年を対象とした宿泊キャンプ及び日帰り活動を支援し、日頃体験機会が乏しい青少年に多様な体験機会を提供しました。「わくわく生活体験キャンプ」では市内5区の寄り添い支援施設に通う青少年が参加をし、星空観察会など体験活動を通じて交流を深めました。</p> <p>また近隣中学校の個別支援学級が行う職業体験の受け入れも行いました。</p>
	地域交流事業	<p>施設の活動及び青少年に対する理解を深めてもらうことを目的に、近隣地域と交流を深める事業を実施しました。</p> <p>研修センターが主体となり「地域ネットワーク会議」を開催し、近隣の町内会及び野島公園職員と、防災や事業等の連携について話し合いました。</p> <p>地域の人たちに施設及び活動を知ってもらうために「のじまオープンデー」を実施し、施設を一般公開するとともに、延べ406人に体験プログラムを体験してもらいました。</p> <p>また地域住民が主催や企画をする「陶芸教室」と「コグニサイズ体験教室」を共催し、地域住民に文化活動の場を提供しました。</p>

平成29年度 「野島青少年研修センター」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	76,887,000		76,887,000	76,887,000	0	横浜市より
利用料金収入	15,300,000		15,300,000	14,778,400	521,600	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	3,950,000		3,950,000	5,422,199	1,472,199	
自主事業収入	100,000		100,000	100,000	0	法人寄附金
雑入	500,000	0	500,000	291,700	208,300	
印刷代	20,000		20,000	23,448	3,448	
自動販売機手数料	400,000		400,000	259,647	140,353	自販機 (電気代除く)・売店賃料
駐車場利用料金収入			0		0	
その他 (ランドリー収入)	80,000		80,000	8,605	71,395	
収入合計	96,737,000	0	96,737,000	97,479,299	742,299	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,351,000	0	33,351,000	38,336,745	4,985,745	(施設連携事業費含む)
給与・賃金	27,217,000		27,217,000	31,711,084	4,494,084	(施設連携事業費2,923,430.-含む)
社会保険料	4,572,000		4,572,000	4,505,506	66,494	(施設連携事業費511,196.-含む)
通勤手当	1,100,000		1,100,000	1,316,810	216,810	
健康診断費	70,000		70,000	77,299	7,299	
勤労者福祉共済掛金	42,000		42,000	42,000	0	(施設連携事業費6,000.-含む)
退職給付引当金繰入額	350,000		350,000	684,046	334,046	
事務費	3,012,000	0	3,012,000	3,202,864	190,864	(施設連携事業費含む)
旅費			0	121,888	121,888	
消耗品費	2,020,000		2,020,000	1,507,015	512,985	利用者用トイレトペーパー、洗剤、蛍光灯等の施設管理消耗品を含む
会議賄い費			0	6,000	6,000	
印刷製本費	160,000		160,000	900	159,100	
通信費	52,000		52,000	197,655	145,655	
使用料及び賃借料	300,000	0	300,000	731,590	431,590	
横浜市への支払分	300,000		300,000	275,358	24,642	目的外使用料
その他			0	456,232	456,232	(施設連携事業費456,232.-含む)
備品購入費	100,000		100,000	354,240	254,240	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	180,000		180,000	214,230	34,230	
職員等研修費			0	3,447	3,447	
振込手数料			0	32,400	32,400	
リース料	200,000		200,000	21,511	178,489	コピー機リース料
手数料			0	11,988	11,988	
地域協力費			0	0	0	
事業費	5,417,000	0	5,417,000	4,270,280	1,146,720	(施設連携事業費含む)
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	5,317,000		5,317,000	4,170,280	1,146,720	(施設連携事業費1,296.-含む)
自主事業費	100,000		100,000	100,000	0	野島クリスマスキャンプ負担金
管理費	50,782,000	0	50,782,000	47,567,638	3,214,362	
光熱水費	16,000,000	0	16,000,000	13,192,434	2,807,566	
電気料金	7,400,000		7,400,000	5,950,940	1,449,060	
ガス料金	4,300,000		4,300,000	3,095,260	1,204,740	
水道料金	4,300,000		4,300,000	4,146,234	153,766	
清掃費	11,000,000		11,000,000	11,140,416	140,416	
修繕費	3,000,000		3,000,000	800,000	2,200,000	
機械警備費	250,000		250,000	237,870	12,130	
設備保全費	13,530,000	0	13,530,000	13,119,409	410,591	
空調衛生設備保守	8,000,000		8,000,000	2,560,032	5,439,968	
消防設備保守	350,000		350,000	280,800	69,200	
電気設備保守	220,000		220,000	7,436,880	7,216,880	
害虫駆除清掃保守	260,000		260,000	216,000	44,000	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	4,700,000		4,700,000	2,625,697	2,074,303	ボイラー、自家発電、ろ過器、冷水器、中央監視盤、エレベーター ほか
共益費	7,002,000		7,002,000	9,077,509	2,075,509	ゴミ処理委託、リネン、マット交換 ほか
公租公課	4,100,000	0	4,100,000	4,132,100	32,100	
事業所税			0	0	0	
消費税	4,100,000		4,100,000	4,100,000	0	
印紙税			0	21,500	21,500	
その他 (自動車税・重量税)			0	10,600	10,600	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	75,000	0	75,000	43,222	31,778	
本部分			0	0	0	
当該施設分	75,000		75,000	43,222	31,778	社労士、税理士謝金、会計システム保守委託費
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	96,737,000	0	96,737,000	97,552,849	815,849	
差引	0	0	0	73,550	73,550	

自主事業費収入	4,050,000			100,000		
自主事業費支出	5,417,000			100,000		
自主事業収支	1,367,000			0		

管理許可・目的外使用許可収入	500,000			268,252		
管理許可・目的外使用許可支出	300,000			275,358		
管理許可・目的外使用許可収支	200,000			7,106		